

4D v17R4 リリースノート

2019年4月16日

バグ修正リスト

英語版 : http://bugs.4d.fr/fixedbugslist?Version=17_R4

日本語版 : <https://4d-jp.github.io/2019/04/06/release-note-version-17r4/>

前のバージョンのバグ修正リスト :

v17.R3

英語版 : http://bugs.4d.fr/fixedbugslist?Version=17_R3

日本語版 : <https://4d-jp.github.io/2019/01/07/release-note-version-17r3/>

32-bit 対応の終了

このリリース (4D v17R4) は 32-bit バージョンを含む最後のリリースです。4D では v17R5 より 32-bit バージョンの製作を中止します。

ドラッグ&ドロップのプロパティを廃止しました

4D v11 以降、ドラッグ&ドロップ操作は On Being Drag Over イベントとペーストボード・テーマのコマンドを使って管理することが推奨されていました。DRAG AND DROP PROPERTIES コマンドは 4D v17 R4 をもって廃止されましたので、もう使わないでください。

ユーザーフォームコマンドを廃止しました

4D v16 R6 以降、動的フォームが実装され、ユーザーフォームコマンドに代わって使うことができます。従って、User Form テーマの全てのコマンドは廃止されました。廃止されたコマンドは : CREATE USER FORM、DELETE USER FORM、EDIT FORM、LIST USER FORMS。

インデックス化されたオブジェクト・フィールドは再インデックス化が必要

保存されているデータやデータの作成方法によって、オブジェクト・フィールドのインデックスは不正確になることがあります。これはごく稀にしか発生せず、再現ができません。不具合の一部は、例えば、' "[]' のような特別な文字のプロパティ名を使ったオブジェクトを持っていることに起因します。これによりインデックスは破損し、オブジェクト・フィールド内のクエリ・パイ・アトリビュートが失敗する可能性があります (ACIO098796)。このエラーは 4D v15 - v17.0 で作成されたインデックス化されたオブジェクト・フィールドを持つデータベースに関連があります。V16.4 HF1 / v17.1 / v17 R4 以降にインデックス化された、あるいは作成されたデータベースには影響はありません。この問題を修正するには、オブジェクト・

フィールドを再インデックス化することを勧めます。

4D View Pro の新しいデータ形式

SpreadJS データ形式とのより良い付き合いのために、4D は日付と時間の保存の仕方を変えてきました。4D v17 R2 以降、4D view から 4D View Pro へドキュメントを移行するときに、時間と日付は C_TEXT として型変換されました。4D v17 R4 では、日付と時間は C_OBJECT として型変換され、そこには日付のフィールド(C_DATE)と時間のフィールド(C_TIME)という、二つのフィールドが含まれます。

4D は mac DMG ファイルから起動されるとクラッシュしました

ユーザーが DMG 形式の 4D.app あるいは 4D Server のアイコンをダブルクリックすると、4D はクラッシュしました。この問題を避けるには、ユーザーは手動で 4D.app をフォルダー（例えば『アプリケーション』）に移動しなければなりません。